

第15回 吹田市遺伝子情報保護連絡会 議事概要

1 開催日時

令和5年(2023年)3月15日(水) 午後3時から午後3時30分まで

2 開催場所

吹田市保健所 2階 講堂

WEB オンライン会議

3 出席委員

御前委員 小久保委員 春藤委員

4 欠席委員

辻川委員 藤原委員

5 市出席者

柴田保健所長 岡本健康医療部次長兼保健医療総務室長 濱本保健医療総務室参事

山村保健医療総務室主幹 越智保健医療総務室主査

6 案件

(1) 委員紹介

(2) 市職員紹介

(3) 議事

ア 研究期間を超えて保管された遺伝子試料に関する現状報告

イ 高齢期脳内 β アミロイド蓄積に関する国際比較とアミロイド蓄積に関与する食事因子の
解明

ウ 頭部MR I画像を主としたマルチバイオマーカーを用いた認知機能低下予測AIモデル
の開発

エ その他

7 議事の概要 別紙のとおり

事務局 ただいまから、第15回吹田市遺伝子情報保護連絡会を開催します。よろしくお願いいたします。

本日は年度末のお忙しい中、お集まりいただき誠にありがとうございます。
 まず初めに、配付資料の確認をいたします。

— 配付資料の確認 —

事務局 それでは、次第1ですが、まず委員の皆様を御紹介いたします。また委員の変更も
 ございますので、併せて御説明いたします。参考資料1の委員名簿をご覧ください。

— 委員紹介（吹田市遺伝子情報保護連絡会委員名簿） —

事務局 次に、市職員を紹介します。

— 市職員紹介 —

事務局 それでは、開会にあたり吹田市保健所長より御挨拶を申し上げます。

— 保健所長 挨拶 —

事務局 それでは、連絡会の傍聴について御説明します。吹田市情報公開条例において、
 審議会等の会議は原則として公開することとしております。

本日傍聴希望者はいらっしゃらないことを御報告いたします。

なお、本連絡会の内容につきましては、終了後、ホームページでの公開を予定して
 おります。議事要旨作成のため録音することを御了承くださいますようお願い申し上げま
 す。次に、本年1月から改めて委員を選任しております。本連絡会設置要領第4条に基
 づき、会長につきましては、御前委員をあらかじめ御指名させていただきました。それ
 では会長から一言御挨拶をお願いします。

— 会長 挨拶 —

事務局 それでは、以降の議事進行につきましては、会長にお願いしたいと思います。会長
 よろしく申し上げます。

会 長 それでは、次第に従い、議事を進行してまいります。

まず議事（1）について、御説明をお願いします。

— 資料説明 —

会 長 ありがとうございます。説明のありました議事（１）について、御質問や御意見はございませんでしょうか。

委 員 私から一言だけ申し上げてよろしいでしょうか。

本連絡会については、平成 12 年の 2 月 3 日付の新聞報道等で、国立循環器病研究センターによる無断遺伝子の解析が取り上げられ、大きく報道され、市議会でも、本件について、非常に多くの御指摘を受けることになりました。これは、国立循環器病研究センターにおかれましても、事の重大さを改めて御認識いただくことになったものと思います。このことについては我々といたしましても、本当に残念な事態であったとともに、このような事態を起こしてはならないと、この間ずっと考えて参りました。この事案を受けて、吹田市遺伝子情報保護連絡会を設置し、平成 12 年 10 月 6 日に第 1 回を開催し、今回で 15 回目となっております。

あれから約 20 年が経過し、この間、国立循環器病研究センターで保管されている遺伝子は、適切に管理されているという認識を持っております。現在、健都を中心とした健康医療のまちづくりを本市が推進しております。国立循環器病研究センターは、本市にとって重要なパートナーの一員であると考えております。

今後さらに市民及び国民のために、様々な研究を推進していただきたいと考えておりますし、引き続き、この遺伝子情報の重要性について認識を持っていただいて、今後も適切な管理を切に願う次第でございます。以上でございます。

会 長 貴重な御意見をありがとうございます。他にございませんでしょうか。

私から一言すみません。

委員へ質問です。報告資料の 1 の文章の最後の段落部分ですが、『再開が決まり次第、倫理委員会の承認を得ると同時に、吹田市に遅滞なくご報告申し上げます』とありますが、これは現在の検体については、今までどおり現状のままずっと保管されるということなのでしょうか。将来的に廃棄するときはどう処理をなさるのででしょうか。

もしお考えがありましたらお教え願いたいのですが、いかがでしょうか。

委 員 現時点においては、このまま保管していく予定であるという認識です。検体については、現時点でどうするか、院内でまだ決定しておりません。これだけ社会的な問題を起こしておりますので、慎重に取り扱わなくてはなりません。これだけ社会的な影響を与えたものに対して、どのように進めていくかは、今後、病院幹部と相談のうえ、決定していきます。

会 長 ありがとうございます。他はございませんでしょうか。
続いて議事（２）について、御説明をお願いいたします。

— 資料説明 —

会 長 ありがとうございます。現在の検体が保存され、適切に保管しているという報告ですが、本件に関して御質問はございませんか。

— 質問なし —

それでは議事（3）について、御説明をお願いいたします。

— 資料説明 —

会 長 今、委員に御説明いただきました本件は、昨年はまだ開始していなかったと思いますが、もう動き出しているのですか。

委 員 そう思います。

これはいわゆる吹田研究とは異なり、新しい吹田研究ネクストとあって、新しいコホートの対象者のうち、認知機能が低下している、つまり軽度認知機能低下或いは認知症の対象者に対して、ネクストの研究では、MRI検査まで受けることができます。そこから先は、本人の自由意志で物忘れ外来を受診いただくことも可能です。その物忘れ外来の受診対象者については、神経内科が実施している研究となり、これは外来にいられた認知機能の低下疑いの対象者を追跡するという類のものです。そのあと、認知機能が低下しやすいのかしにくいのか、臨床研究を行うものです。ここでのゲノム情報というのは、検診部のゲノム情報ではなく、我々吹田研究ネクストというのは、バイオバンク事業にも同時に参画させていただいており、受診者はそのバイオバンク事業に、自由意志で参加された対象者だけです。

このバイオバンク事業だけに参加することができないので、吹田研究ネクストの対象者たちは、本研究に参加するかどうかを、説明と同意のもとに自由意志で決めていただくこととなります。

現在の進捗については、最近この倫理委員会は実際にはかなり時間を要するため、しばらく経ってから開始するという話を聞いており、そろそろ今年あたりから始まっているかと考えています。この件については、検診部というよりも、検診部と神経内科との共同事業であり、ベースはどちらかというとな神経内科になります。ゲノムについては、バイオバンク事業で取り扱っているものを適切に使うことになっております。

本件、あるいはその他のさまざまな研究計画の変更など、今、年度末の残り時間が少ないですが、整理をして、研究終了については閉じる方向で、継続するものは継続の方向で、ゲノム研究とそうでない研究を合わせて、どう進めていくのかを、現在、倫理委員会と協議しているところでございます。整理後、年度内に倫理委員会の承認が下りしだい、吹田市と医師会、歯科医師会に報告する予定です。以上です。

会 長 特に倫理面でも院内の倫理委員会において、十分検討されており問題はないと考えますが、特に御質問等ございませんでしょうか。

委 員 補足説明ですが、本件は、例えば3年だったか、フォローアップしてから研究が始まります。今は対象者に外来を受診いただき、同意をいただいているだけの状態という理解です。研究はまだ動いてないと思います。

会 長 今、参加者をリクルートしている段階ということですね。

委 員 はい。

会 長 ありがとうございます。
これからこういう研究が進んでいくというお話であり、事業の御紹介でした。
ありがとうございました。他に御意見、御質問等はございませんか。それでは、議事は3件とも滞りなく御了承いただきました。次に、4番その他ですが、事務局から何かございますか。

事務局 事務局より本連絡会の廃止について御説明をいたします。
本連絡会は、国立循環器病研究センターの遺伝子無断解析事案の再発防止を目的に監視的役割を果たす組織として、平成12年度に設置されました。
平成12年当時、遺伝子情報の取り扱いについては、明確な法整備がなかったものの、個人情報保護法が施行されたことで、法規制の対象となり、また、同法に基づく指針等も、各分野から発出されております。これら法及び指針等の整備により、遺伝子情報は、各分野において高い意識のもとに取り扱われており、本連絡会の役割及び設置目的を果たす環境が整えられたものと判断し、本連絡会を本年3月31日付けで廃止することといたしました。
委員の皆様、本日まで本連絡会に御参画をいただき、誠にありがとうございました。
事務局からは以上です。

会 長 ありがとうございます。
それでは今事務局から御報告がありましたように、今回が最後の連絡会となります。会長からも御礼申し上げます。
最後に一言ずつ、委員のみなさまに御意見、お言葉をいただきたいと思っております。

委 員 先ほど申し上げたようにこれからも国循をパートナーとして、健康寿命の延伸、コホート、データヘルス等を、進めていきたいと思っておりますので、個人情報を守りながら、目的に向かってともに進めることを期待しております。どうぞよろしくお願いいたします。

- 委員 委員の皆様、本当に貴重な時間を、ありがとうございます。
また、これまで長年に渡って、このような機会をいただき、ありがとうございます。
皆様の大変な御尽力、本当に心より感謝申し上げます。
これからの事業推進について、パートナーとして続けていくためには、やはりお互いの熱い信頼感を、きっちり守っていけるような体制をとる必要があると思います。
人間関係は、親しいからこそ、しっかりと構築して、問題を二度と起こさないように、より信頼感を持って、世界に情報発信できるような体制にしていきたいと考えております。今後ともますます御支援のほど、よろしく願いいたします。
- 会長 連絡会が発足された当時は、もう20年以上前になりますが、そのころと比べて、現在は大分世間の状況が変化しております。各大学、大学病院、それから国立がんセンター、その他でも、各機関内でしっかりとした倫理委員会を持っておられ、この連絡会については一定の役割を終え、今回で最後の開催になりました。
委員もおっしゃったように、やっぱりお互いの信頼というのは、本連絡会が廃止されたからといって、薄れてしまっただけでは非常に困ります。行政、それから我々医師会の方とも連携をとりながら十分に目を配っていきたいと思っておりますので、今後とも委員の方々、行政の方々よろしくお願い申し上げます。
それでは他に案件がないようでしたら本連絡会、本当に最後にさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。それでは本日はどうもありがとうございました。
これからもよろしくお願い申し上げます。

以上